

医師不足の影響に関する調査の概要

1 調査の目的

病院勤務医の不足が深刻化していることから、医師不足対策を検討する際の参考とするため、県内病院における医師不足を原因とした診療制限の状況を把握する。

2 調査の時点

平成28年6月末現在（平成28年度中の予定も含む。）

3 調査の対象

県内の全病院（323病院）

回収率100%

4 調査の方法

郵送

※ 調査回答にあたっては、病院名については公表しないことを条件としている。

5 診療制限の内容

診療科の全面休止、入院診療の休止、入院診療の制限、分娩対応休止、分娩数の制限、時間外救急患者受入制限、診療日数縮小、診療時間縮小、初診患者受入制限、内視鏡など検査制限、麻酔科医不足による手術制限 等

※ 今回から診療制限の内容として「麻酔科医不足による手術制限」を追加した。

※ 本調査は平成19年度から毎年度実施しており、本年度で10回目となる。